

10ページで感じる

きもちにいい絵本



「悲」

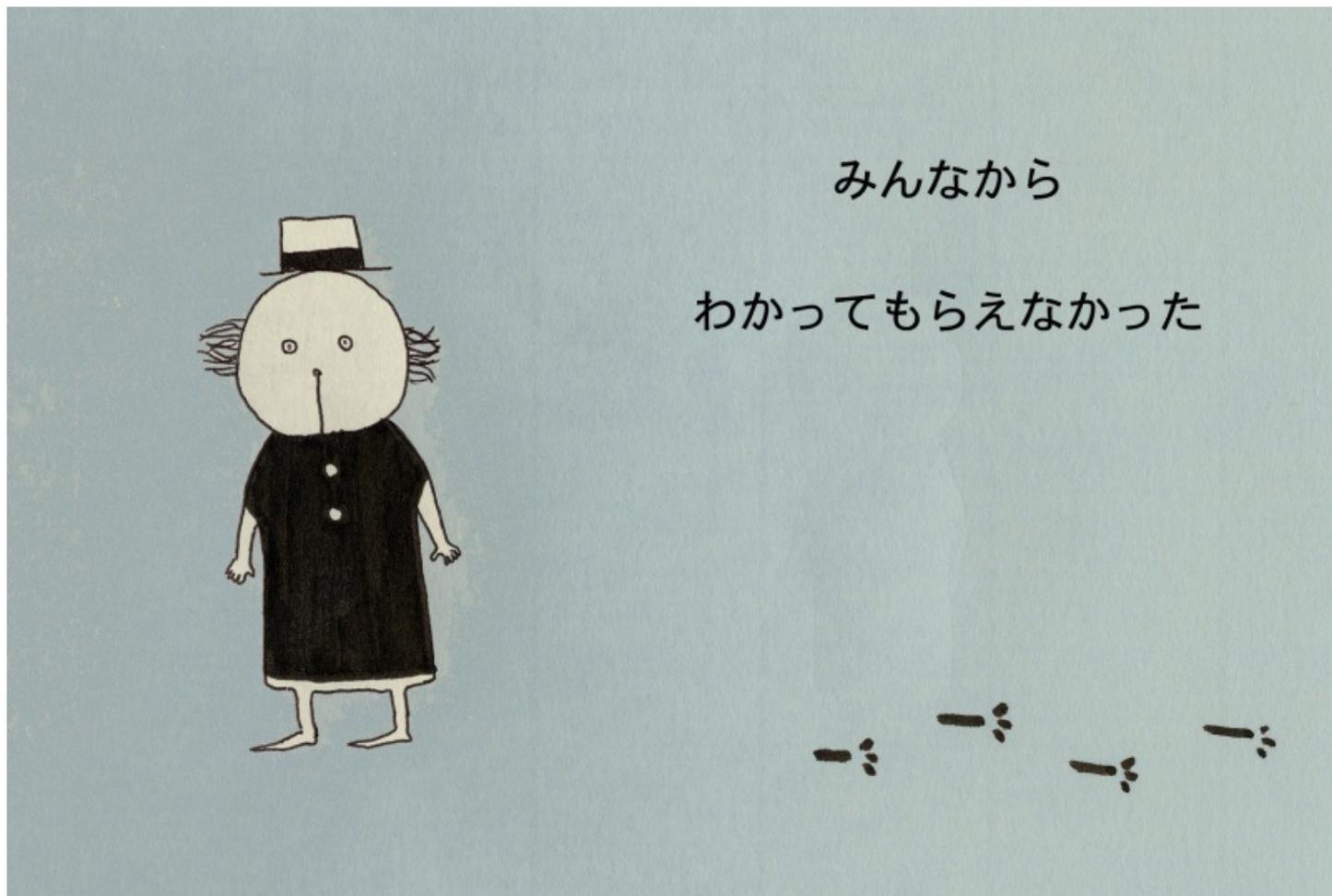
絵： Ben

文： 吉井春樹

ともだちに

うそつかれた







ココロがとっても

キズつけられた



キズぐちから

根っこまで





じわじわ涙が

しみこんだ

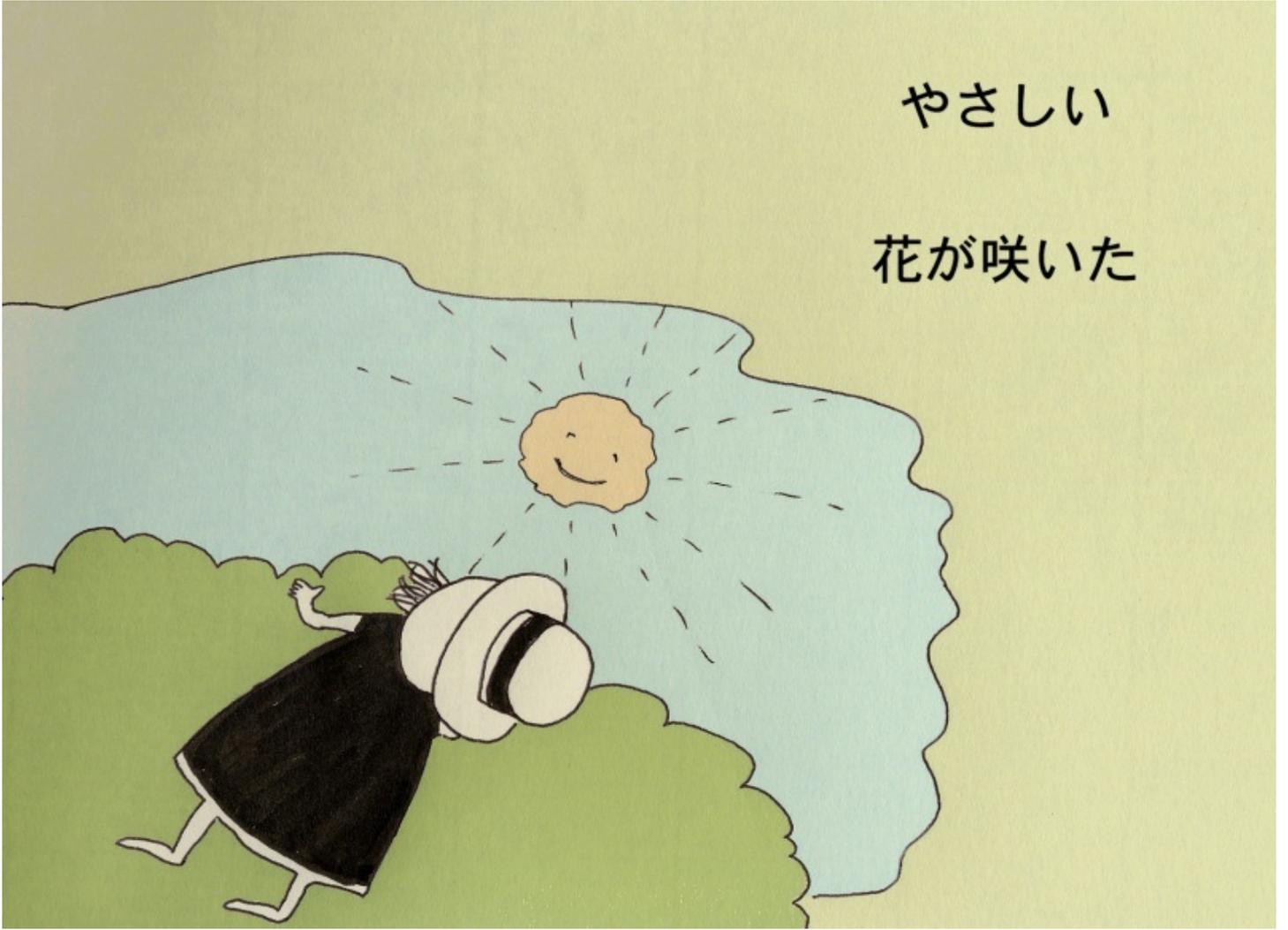




かなしみは
おおきくなって

やさしい

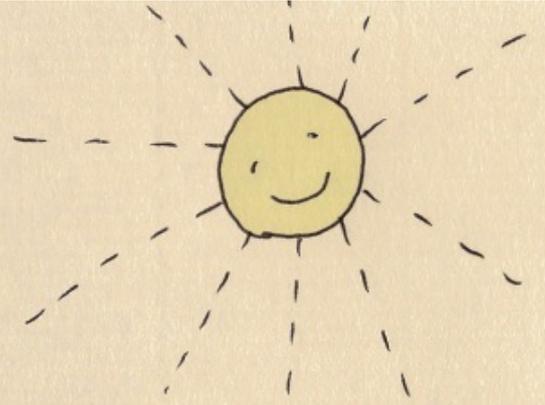
花が咲いた



かなしみは

きっと、

やさしさのタネ。



あとがき ～ イラストレータ Ben ～

Ben

1988年生まれ。イラストレーター。本名 上原由祈子。

<http://ameblo.jp/yukiko0623ben/>

この作品では、「こころ」をモチーフにしたキャラクターが出てきます。彼が、友達にうそをつかれてしまったり、わかってもらえなかったり、こころがとっても悲しい気持ちでいっぱいになってしまうことから、お話は始まります。

悲しい気持ちは、いつか、自分の木を成長させてくれる種です。大きくなった“木”から見える景色は、悲しみに沈んでいた頃とは、まったく違う、新しい発見をさせてくれます。たとえば、誰かを許すことができたり、誰かの悲しみを分かち合えたり、実は誰かが見守っていてくれていたことに気づいたり・・・

「悲しみ」という、誰でも一度は経験するところが、決してマイナスなものではないと、この絵本は教えてくれます。これから先、悲しいことがあったとき、ぜひこの絵本のことを思い出してほしいです。

最後に、今回、吉井春樹さんの絵本企画、10ページで感じるこころの絵本に参加できたことに感謝します。本当にありがとうございました。

あとがき ～ 吉井春樹 ～

「悲」～きもちにいい絵本～

この作品を最後まで読んでくださって、
そして、ダウンロードまでしてくださって、
本当にありがとうございます。幸せ全開です。

「絵が描けない人間でも、絵本をつくることができないうるか」

そんな小さな思いつきではじめた「コラボ絵本企画」
僕が書いた文章に、絵の専門家たちが色を添えてくれる。

すっぴん状態だった「悲」という文章に対して、
個性的で彩りも豊富で思い思いの色を添えてもらいました。

ほんのりキレイになって、おめかしをして、
こうして、一冊の作品に仕上げていただきました。

大賞のイラストレータBENさんをはじめ、
参加してくださった「絵の専門家」のみなさまの
チカラをお貸ししていただける自分のラッキー具合に、
あらためて、うれしく誇らしく感じています。

僕たちの心の中には、いろんな色が混ざり合っています。
そして、その色は、ほんの一瞬で、ころころ様変わりをします。

心の隅に追いやられがちな「悲」にも、
僕たちは助けられたり守られたり刺激されたりしています。
悲しみのある人生だったからこそ、味わえる幸せだって、
たくさんあると思いますし、それを信じてやみません。

もしも大切な誰かが「悲」に浸っているとき、
どうか、この一冊を渡して、そして見守ってあげてください。

あなたのそのやさしさが、あなたの思いやりが、
その人の心の中の「悲」をやわらかくするはずです。

吉井春樹

<プロフィール>

1977年愛媛県生まれ。「コトバ is プレゼント」をコンセプトにしたコピーライター出身の作家、詩人、エッセイスト。やさしく短い文章で、日常の小さな幸せを表現したメッセージ本を多数出版。年代問わず女性に幅広い支持によりロングセラーとなり、某国民的アイドルのラジオ番組や、韓流スターのライブイベントで朗読されたり、人気モデルのブログで紹介されたりと、著名人にファンも。■著書「しあわせスイッチ」（ディスカヴァー21）「いつもよりがんばるあなたに。」「しあわせが、しあわせを、みつけてきた。」（以上アルファポリス）「好きのしるし」（PHP研究所）などがある。写真ブランド「SNAP-SHOT」とのコラボ作品として大手雑貨店で全国展開中のフォトポエムカードも人気が高い。<http://haruki-yoshii.com> また、コトバの筋トレ『コトトレ』主宰として多くの作家やアーティストを輩出。<http://kototore.net>